

■書架・物品棚対策方法例

収納物が棚からはみ出さないようにする

日常でのチェックポイント

- 棚爪、棚板がしっかりセットされているか。
- 棚板1枚当たりの荷重は多すぎないか。
- バランスよく収納されているか
- 収納物が棚からはみ出していないか。

予防対策事前対策 物品棚固定

ローパーティション・デスク・OA機器 対策方法例

日常でのチェックポイント (デスク+コンピュータ)

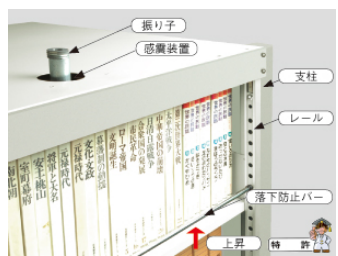
- デスクの周囲は広くとり、避難通路を確保しているか。
- デスクの下は避難できるよう、整理されているか。
- ワゴンやデスクの引き出して、軽いものは上段に重いものは下段に入れているか。

(ローパーティション)

- 倒れにくいレイアウトになっているか。
- 床固定・壁固定がされているか。



回転式落下防止バー
 物品や書籍、ファイルを出し入れするときにバーを回転させて下ろすことができます。
 (価格は1段当り¥3,000~¥15,000本数やサイズにより異なります。都度お問合せください。)



感震式落下防止バー
 一定の地震の揺れを感知すると、全段の落下防止バーが自動的に上昇して書籍の落下を防止する装置です。

■ 落下防止対策

■ 転倒防止対策

床面、壁面、周辺のラックと固定することにより、地震時にラックが転倒することを防ぎます。



*移動ラックにも対策があります。詳細はお問合せください。

ローパーティション
対策1 転倒・ロッキング
レイアウト
 ローパーティションのレイアウトは、コーナー部分を多くするほど安定します。L・コ字型レイアウトをお薦めします。
 ●L字型・コ字型レイアウトは床固定および壁固定をします。

壁固定

安定脚

床固定

デスク・OA機器
対策1 転倒・ロッキング
コンピュータの固定

デスクの床固定